

教誨師連盟だより

No. 58

発行所
(公財)全国教誨師連盟

〒165-0026
東京都中野区新井3-37-2
電話 03-3389-7411
FAX 03-3387-3460
E-mail: zenren@soleil.ocn.ne.jp

令和元年を振り返って

公益財団法人全国教誨師連盟 理事長 舎奈田 経 夫

はじめに、台風や大雨等の自然災害に罹災された皆様、世界文化遺産だった首里城消失により心を痛めている皆様に、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧と復興をお祈り申し上げます。

そして、平素、全国教誨師連盟に対し御支援・御協力いただいたおられます各教宗団・教誨師各位、更に賛助を賜っております皆様方に厚く御礼申し上げます。

本年九月三・四・五日法務省大會議室で行われた第五四回教誨師中央研修会開催に先立ち、教誨事業功労者に対して法務大臣表彰、公益財団法人日本宗教連盟理事長表彰、全国教誨師連盟総裁表彰の各授賞式が行われました。各受賞者の皆様には心からお慶び申し上げます。

本年度の研修計画は順調にすすみ、一月二三日に行われた大阪管区研修大会をもって八管区全ての研修会は無事終了いたしました。また、統一研修テーマは二年毎に設定しており、「安らぎの心をもとめて」は令和二年度までとなります。令和三年と四年の統一テーマを今年度の管区事務局長会議で



検討いたします。

現在、理事会で継続して検討している案件の一つに、「教誨師委嘱・解嘱規程の一部改正について」があります。皆様も御存じのこととは思いますが、私たちが通う矯正施設は、綱紀粛清を重んじ、不起訴の事件であつても矯正職員は厳しい処分を受けています。私たちも教誨師としての品格を重んじるためにも、現在の委嘱解嘱規程で十分かどうか検討しなければなりません。

掲載した写真は、教誨師中央研修会で京都コングレス（三頁で説明）でのパンフレット用に撮影したものです。全宗派の皆さんが映っていませんが御容赦ください。

令和という新しい時代になりましたが、教誨師の使命になんの変わりはありません。しかし、教誨師自身が納得できる教誨を実施するためには、教誨師としての研鑽を重ね、教誨師同士が協力し支え合う必要があります。そのために皆さんの益々の御協力、積極的な研修会への参加をお願い申し上げます。

連 盟 本 部

連絡先 全国教誨師連盟
 ☎ 〇三―三三―八九―七四―一

◎「教誨受講啓発用DVD」の作成について

被収容者に対する収容開始時の指導の際に使用してもらうDVDがようやく完成します。最終的に法務省矯正局の幹部職員に見ていただくことにしています。全国の矯正施設に配布するのに必要な枚数をプリントし発送します。矯正局からは、このDVDを有効活用するよう文書を発出してもらう予定です。

このDVDを収容開始時の指導に活用してもらえれば、教誨師について単に言葉や文字による指導以上に強く意識に残り、教誨を受けてみたいという意識が高まるものではないかと考えます。

◎「協賛寄附金」について

協賛寄附金として勧募活動を開始してから三年目になります。勧募資料を全ての教誨師に二セットずつ配布しております。また、過去にご寄附いただきました方々には、全教連本部から直接に寄附のご依頼をさせていただいております。また、協賛会員となることにご同意していただいた方には、「協賛会員証」と「協賛会員バッジ」をお送りしています。

三年間の管区別協賛寄附の受納状況は次のとおりです。（令和元年度分については十一月末までの分）

ここで集められた寄附金は、翌年度に、七割を地方研修費用として、二割を管区管理事務費として勧募活動をした教誨師の所属する管区教誨師連盟に配布します。

従前、地方教誨師研修会を担当する県等教誨師会では所属する教誨

師から多額の金額を特別に徴収しているとのことですが、協賛寄附金の勧募活動を活発に行うことにより、特別徴収金額の減少あるいは特別徴収が不要となります。

協賛寄附者の多くは継続して寄附をしてくださっています。本年度、三二六人の方に継続の寄附依頼をしたところ、現時点で、半数以上の一七一人から継続寄附をいただいています。

この制度を定着させ、教誨師研修を担当する度に、特別に金銭を集めることが無くなるようにしたいと考えています。

毎年少しでも寄附件数、寄附金額が伸びますよう、皆様のご協力を切に願っております。よろしくお願いいたします。

管区名	令和元年度		平成30年度		平成29年度	
	件数	寄附金額	件数	寄附金額	件数	寄附金額
札幌	41	340,000	13	290,000	12	210,000
仙台	10	155,000	15	295,000	9	55,000
東京	40	530,000	39	516,000	27	495,000
名古屋	77	1,095,000	77	1,090,000	103	1,470,000
大阪	10	75,000	14	93,000	16	128,000
広島	18	180,000	12	78,000	15	128,000
高松	7	80,000	11	105,000	2	15,000
福岡	19	205,000	16	180,000	15	265,000
本部	3	3,110,000	4	140,000	0	0
合計	225	5,770,000	201	2,787,000	199	2,766,000

◎「税額控除」について

税額控除についてはこれまで何度も掲載していますが、新しく教誨師になった方もおられますので改めて説明します。

全国教誨師連盟は税額控除対象法人として認定されています。

税額控除対象法人は、公益性のある組織であることの証明でもありません。

税額控除対象法人への寄附は、一定の制約がありますが、確定申告をすることにより寄附金額から二千元を控除した金額の四〇%の金額が所得税から控除（税金が戻される）されます。

これらのことを念頭に入れて寄附を募っていただきたく存じます。

◎「京都コングレス」について

二〇二〇年（令和二年）四月二〇日から二七日の八日間、国立京都国際会館において第一四回国連犯罪防止刑事司法会議（京都コングレス）が開催されます。この会議は五年ごとに各国持ち回りで開催され、日本での開催は五〇年ぶり二回目となります。会議には一五〇か国、四千人以上の参加者が見込まれます。全国教誨師連盟では、世界

$$(\text{寄附金額} - 2,000\text{円}) \times 40\% = \text{税額控除額}$$

寄附金額	税額控除額	実質寄附金額
10,000円	3,200円	6,800円
15,000円	5,200円	9,800円
20,000円	7,200円	12,800円
30,000円	11,200円	18,800円
40,000円	15,200円	24,800円
50,000円	19,200円	30,800円

では類のない様々な教宗派の宗教家の団体であること、完全なボランティア活動として教誨が行われていること等を発信することを考えています。現在英語版のパンフレット等を作成しています。

国際会議の雰囲気味わってみたいとお考えの方もおられましようが、各国の大臣等の要人が参加する関係から、セキュリティが厳しく、関係者以外の方は会議会場には入場出来ないとのことです。

◎協賛寄附金（敬称略）

多額のご寄附をいただきまして誠にありがとうございました。

- 北海道 ▼五万円 酒井和子 ▼二万円 小西征夫 ▼一万円 釋英義 真宗大谷派帯広別院 城戸正博 遠山富美子 齋藤学 大江紹文 専証寺 真宗大谷派旭川別院輪番・太田法生 河村康喜 七宝寺 (有)カマダファーム代表・鎌田賢征 ▼五千元 柏葉房子 油井清量 河森賢 ▼匿名 五名 (二四万五千元)

- 青森県 ▼匿名 一名 (五万円)

- 岩手県 ▼五千元 米澤利次 前川カツエ

- 秋田県 ▼五千元 佐藤紀巳夫 中村松夫

- 山形県 ▼五万円 井澤隆徳 ▼一万円 井澤隆明 ▼五千元 張崎正裕 ▼匿名 一名 (二万円)

- 福島県 ▼匿名 一名 (二万円)

- 茨城県 ▼一万円 飯田新吉 藤井諦 田村晃洋 ▼匿名 三名 (三万円)

- 栃木県 ▼一万円 日光二荒山神社 ▼五千元 倉松俊弘 ▼匿名 三名 (三万円)

- 群馬県 ▼二万円 志田洋遠

- 埼玉県 ▼二万円 仁平昭順 糸原恒久 ▼一万円 池田常臣 浄

東京都 土宗圓福寺 小寺秀仁 松岡崇
▽一〇万円 舍奈田経夫 ▽五万円 中川文隆 ▽三万円
伊佐榮豊 ▽一万円 (株)千葉石材・錦織春海 津守範学
▽五万円 (株)飛和興業・宮坂信次 マヌエル・エルナンデ
ス 加藤益亨 ▽匿名 五名(四万円)

新潟県 ▽匿名 二名(一万五千元)

山梨県 ▽匿名 一名(五千元)

長野県 ▽五千元 望月道彦 ▽匿名 一名(一万円)

静岡県 ▽一万円 静岡県神社庁浜松支部 友田達祐 (株)中部総
業・戸田俊太郎 ▽匿名 一名(五千元)

富山県 ▽三万円 天理教中越分教会・畠山喜一 ▽二万円 立正
佼成会富山教会長・加藤幸作 ▽五千元 川越恒豊 ▽匿
名 二名(二万円)

石川県 ▽匿名 一名(一万円)

岐阜県 ▽匿名 二名(一万円)

愛知県 ▽四万円 副野均 天理教愛知教務支庁 ▽三万円 山口
常賢 常念寺 専唱院総代会 木村昭玄 ▽二万円 大智
院奉賛会 聖運寺 寶珠院 佐治博英 真珠院代表役員・
村岡堯淳 成田山名古屋別院大聖寺 稲垣友宏 (宗)真
宗大谷派顕明寺 ▽一万円 杉浦宣弘 天理教大名分教会
日本聖公会中部地区代表役員 木下和子 森川幸雄
G-TWO(株) 尾前嘉章 松本謙吾 山岸由加子 教蓮寺・
小野正信 田端輝大 生田湧希 楨英心 藤江雅之 専隋
寺 (株)愛知屋仏壇本舗 外山某見 伊奈祐諦 伊奈恵祐
伊奈悦子 皆福寺 ▽五千元 渡邊延幸 家田鐵彦 辻千
恵子 倉橋佐知子 ▽匿名 二三名(四三万五千元)

三重県 ▽五千元 打田義明 ▽匿名 三名(二万円)

京都府 ▽匿名 一名(一万円)
大阪府 ▽一万円 吉光宏昭 ▽五千元 佐々木久裕 ▽匿名 三
名(二万円)

兵庫県 ▽匿名 三名(二万円)

和歌山県 ▽匿名 一名(一万円)

鳥取県 ▽五千元 大下潔 ▽匿名 五名(四万円)

島根県 ▽匿名 二名(二万円)

岡山県 ▽匿名 二名(二万円)

広島県 ▽三万円 高橋哲 ▽二万円 廣安俊道 ▽一万円 神田
守 豊田尚臣 ▽匿名 四名(二万五千元)

徳島県 ▽一万円 大塚教行

香川県 ▽一万円 三井正樹 浄土宗南海教区

愛媛県 ▽三万円 二神瑞隆

高知県 ▽一万円 乾仏具店知寄町店 ▽五千元 今村義男 ▽匿
名 一名(五千元)

福岡県 ▽二万円 安永宏史 ▽一万五千元 楠孝明 ▽五千元
浅野直人 ▽匿名 六名(六万五千元)

佐賀県 ▽匿名 一名(二万円)

長崎県 ▽一万円 江島秀俊 (株)来迎舎 ▽匿名 一名(二万円)

熊本県 ▽匿名 一名(五千元)

宮崎県 ▽匿名 一名(一万円)

鹿児島県 ▽一万円 川端憲光 吉野キリストの教会 ▽五千元
ウォルター・マクセイ

全教連本部 ▽三〇〇万円 大谷光真 ▽一〇万円 大谷光淳
▽一万円 宮川勉

(平成三十二年四月一日から令和元年十一月末日までの分です。)

札幌矯正管区教誨師連盟

連絡先 札幌矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇一七七八三―三九三六

一 研修大会

第五五回札幌矯正管区教誨師研修大会(競輪公益事業振興補助事業)

(一) 開催日 令和元年六月六日(木)～七日(金)

(二) 場所 北海道グリーンランドホテルサンプラザ

(三) 参加者 約一二七名

(四) 大会テーマ

主 題 「安らぎの心をもとめて」

副 題 「心に燈(ともしび)をともす為に」

(五) 記念講演

「精神科臨床とスピリチャリティ―心の癒しと心の成長―」

北星学園大学社会福祉学部教授 田 辺 等 氏

(六) 研究発表

ア 「生きるという積極性について―祈り・願いと実行―」

旭川刑務所教誨師会 阿 部 眞 猛

イ 「心の平安―いま、ここの坐禅―」

帯広刑務所・帯広少年院教誨師会 織 田 秀 道

ウ 「春の雪、そして、心に聴く」

月形学園教誨師会 橋 宝 召

二 定例理事会

(一) 開催日 令和元年六月六日

場 所 北海道グリーンランドホテルサンプラザ

(二) 開催日 令和元年一二月(予定)

場 所 教化センター札幌別院

三 札幌矯正管区教誨師連盟役員

会 長 小澤 眞 了(帯広刑務所・帯広少年院教誨師会)

副 会 長 柏川 法 潤(旭川刑務所教誨師会)

同 阿部 正 信(千歳教誨師会)

理 事 松本 哲 朗(札幌刑務所教誨師会)

同 菊池 吉 郎(釧路刑務所支所教誨師会)

同 柏葉 良 一(網走刑務所教誨師会)

同 小林 義 教(月形刑務所教誨師会)

同 渡邊 脊 龍(函館少年刑務所教誨師会)

同 細谷 康麻呂(月形学園教誨師会)

顧 問 中尾 信(札幌刑務所教誨師会)

監 査 出倉 恵 隆(札幌刑務所教誨師会)

同 玉井 昭 導(千歳教誨師会)

事務局長 天野 広 輝(札幌刑務所教誨師会)

[令和元年一〇月末現在]

仙台矯正管区教誨師連盟

連絡先 仙台矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇二二―二八六一〇―二二四

一 研修大会

第六一回仙台矯正管区教誨師研修青森大会（競輪公益事業振興補助事業）

開催日 令和元年一〇月三日（木）～四日（金）

場所 ホテル青森

参加者 教誨師・矯正施設関係者等 一二四名

大会テーマ「安らぎの心をもとめて」

研究討議

討議題「被收容者の自分を見つめなおす宗教教誨」

発表者 宮城県教誨師会所属教誨師 大内 顕 龍

秋田県教誨師会所属教誨師 寺 本 憲 昭

山形県教誨師会所属教誨師 深 瀬 俊 路

岩手県教誨師会所属教誨師 一 條 善 人

基調講演

「元極道牧師の体当たり更生支援」

罪人の友 主イエス・キリスト教会

牧 師 進 藤 龍 也 氏

二 定例理事会

(一) 開催日 令和元年五月二四日（金）

場 所 仙台矯正管区会議室

(二) 開催日 令和元年一〇月三日（木）

場 所 ホテル青森

(三) 開催日 令和二年三月（予定）

場 所 仙台矯正管区会議室

三 仙台矯正管区教誨師連盟役員

会 長 井 澤 隆 徳（山形県教誨師会）

副会長 高 山 元 延（青森県教誨師会）

理 事 中 村 瑞 貴（宮城県教誨師会）

同 菊 池 了 邦（秋田県教誨師会）

同 中 野 重 孝（福島県教誨師会）

同 島 地 興 霖（岩手県教誨師会）

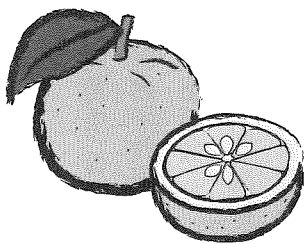
事務局長 徳 力 賢 隆（宮城県教誨師会）

監 事 小 野 良 孝（宮城県教誨師会）

同 信 楽 度（宮城県教誨師会）

会 計 真 山 隆 道（宮城県教誨師会）

〔任期 令和二年三月三十一日まで〕



東京矯正管区教誨師連盟

連絡先 東京矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇四八―六〇―一―一六〇二

班別討論

二 理事会・運営委員会等

- (一) 会計監査 五月一七日(金) さいたま新都心合同庁舎二号館
(二) 定例理事会

- 第一回 五月一七日(金) さいたま新都心合同庁舎二号館
第二回 六月五日(水) 明治記念館
第三回 二月二一日(金) (予定) さいたま新都心合同庁舎二号館

(三) 運営委員会

- 第一回 七月三二日(水) さいたま新都心合同庁舎二号館
第二回 九月二七日(金) さいたま新都心合同庁舎二号館

(四) 管区研修大会検討委員会

- 第一回 九月二七日(金) さいたま新都心合同庁舎二号館
第二回 (未定) さいたま新都心合同庁舎二号館

三 東京矯正管区教誨師連盟役員

- 会長 竹岡 郁雄(東日本センター)
副会長 大中 明英(黒羽)・橋爪 良真(前橋)
同 川上 宗勇(東拘)・南荘 宏(静岡)
事務局長 藏田 秀樹(千葉)
事務局次長 鬼頭 広安(府中)・嵩 海史(川越)
監事 増田 廣神(水戸)・高岡 精司(府中)

(令和元年一〇月末現在)

一 研修大会

- (一) 第六二回東京矯正管区教誨師研修東京大会(競輪公益事業振興補助事業)

開催日 令和元年六月五日(水)～六日(木)

場所 東京都港区元赤坂二―二―二三 明治記念館

参加者 教誨師・施設職員・来賓等 三五八名

主 題 「安らぎの心をもとめて」

副 題 「教誨師に求められること」

基調講演 「矯正の現状」

講 師 東京矯正管区長 島 孝一氏

記念講演 「犯罪心理学とプロファイリング」

講 師 北 芝 健氏

- (二) 第一六回東京矯正管区教誨師連盟課題別研修会

開催日 令和元年一二月一〇日(火)

場所 さいたま新都心合同庁舎二号館五階

参加者 管内刑事施設所属教誨師

主 題 「安らぎの心をもとめて」

副 題 「再犯防止施策に学ぶ」

講 演 「改善指導の取り組みを共有しよう」

「性犯罪再犯防止指導から見る目的と目標」

講 師 千葉大学社会精神保健教育研究センター

法システム研究部門 特任講師

東 本 愛 香 氏

名古屋矯正管区教誨師連盟

連絡先 名古屋矯正管区
教誨師連盟事務局
☎〇五二一九七一―五九八四

一 研修大会

第六三回名古屋矯正管区教誨師研修大会(競輪公益事業振興補助事業)

業)

(一) 開催日 令和元年六月一日(火)～二日(水)

(二) 場所 岐阜グランドホテル

(三) 参加者 教誨師・矯正施設関係者等 計一四四名

(四) 大会テーマ「安らぎの心をもとめて」

サブテーマ「自らの尊さに目覚めて明日への糧にしよう」

(五) 基調講演

演 題 「教誨の現況」

講 師 前名古屋矯正管区教誨師連盟会長現参与

石 川 宣 氏

(六) 第一部研修会

意見発表

発表者一 原 嘉 伸(富山刑務所)

発表者二 川 島 一 郎(三重刑務所)

発表者三 宮 部 唯 能(豊橋刑務支所)

発表者四 堂 宮 淳 賢(瀬戸少年院)

助言者 楠 原 純 孝(名古屋矯正管区教誨師連盟会長)

助言者補佐 松 井 祥 一(岐阜刑務所教育統括)

座 長 田 尻 和 光(岐阜刑務所)

(七) 第二部研修会

演 題 「塀の中の嘶家 奮闘中」

講 師 東京拘置所篤志面接委員 古今亭 菊千代 氏

二 理事会の状況

定例理事会

令和元年六月一〇日(月) 岐阜グランドホテル

三 名古屋矯正管区教誨師連盟役員

会 長 楠 原 純 孝(名古屋刑務所)

副会長 岩 水 龍 峰(岐阜刑務所)

同 加 藤 通 幸(名古屋拘置所)

事務局長 榎 研 治(名古屋刑務所)

理 事 稲 生 隆 信(富山刑務所)

同 松 本 昌 丈(金沢刑務所)

同 森 惠 司(福井刑務所)

同 箕 浦 良 信(笠松刑務所)

同 星 川 佳 信(三重刑務所)

会 計 大 野 浩 宗(名古屋刑務所)

監 事 日 谷 照 應(金沢刑務所)

同 加 藤 幹 夫(三重刑務所)

参 与 石 川 宣 宜(愛知少年院)

同 林 精 應(福井刑務所)

(令和元年一〇月一日現在)

大阪矯正管区教誨師連盟

連絡先 大阪矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇六一六九四一―五七七―

一 第六七回大阪矯正管区教誨師研修大会

- (一) 開催日 令和元年一月二二日(金)
- (二) 場所 ホテルグランヴィア和歌山(和歌山県和歌山市)
- (三) 参加者 教誨師約一〇七名、他約六九名 合計約一七六名
- (四) テーマ

全国テーマ「安らぎの心をもとめて」
管区テーマ「^ク気づき^クを生む教誨」

(五) 内容

ア 式典
イ 講演

(ア) 講師 上野 和久氏

演題「高野山大学准教授 和歌山県臨床心理士会長」
「生きる力を求めて〜こころとからだの会話」

(イ) 講師 西平 都紀子氏

(株式会社信濃路代表取締役)

二 会議の状況

- 第一回定例理事会 令和元年 六月 七日(金) 管区会議室
- 第二回定例理事会 令和元年一月二一日(木)

ホテルグランヴィア和歌山

三 大阪矯正管区教誨師連盟役員等

会長	高木 歓恒 (和歌山刑務所)
副会長	巖水 法乘 (大阪拘置所)
同	宮谷 泉 (奈良少年院)
事務局長	大久保 洋 (滋賀刑務所)
理事	漢見 覚恵 (滋賀刑務所)
同	農 利信 (京都刑務所)
同	井上 廣 (京都医療少年院)
同	北畠 顯諒 (和泉学園)
同	斎藤 舜貽 (神戸刑務所)
同	井本 学明 (加古川刑務所)
同	中村 宏道 (奈良少年院)
同	山下 芳巖 (和歌山刑務所)
監事	高木 日出喜 (京都刑務所)
同	寶來 正彦 (大阪刑務所)
主事	新居 大典 (神戸刑務所)
同	栗本 博善 (和歌山刑務所)
同	木本 和行 (浪速少年院)
同	岩崎 慶昭 (奈良少年院)

〔任期 令和三年三月三一日まで〕

広島矯正管区教誨師連盟

連絡先 広島矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇八二一―二二三―八二五二

一 第二八回広島矯正管区教誨師研修会(競輪公益事業振興補助事業)

- (一) 開催日 令和元年六月二十七日(木)
 (二) 場所 浜田ワシントンホテルプラザ(浜田市)
 (三) 目的 被収容者の心に寄り添い、今、成すべきことを共に見つめながら、明日へと歩んで行ける心を養う
 教誨活動に資することを目的とする。

(四) テーマ

主題「安らぎの心をもとめて」
 副題「心の居場所を与える教誨」
 教誨師・矯正施設関係者等 九六名

(五) 参加者

(六) 式典

(七) 記念講演
 演 題 「地域共生社会の実現にむけて」
 演 者 〓我が事・丸ごとの地域づくり〓
 社会福祉法人いわみ福祉会理事長

(八) 基調講演

演 題 「葛藤の語りによる変容」
 〓回復共同体(TC)の取り組みを通じて〓
 講 師 島根あさひ社会復帰促進センター
 社会復帰促進部心理職

福永恵子氏
 高田勉氏

二 会議の状況について

(一) 定例理事会

開催日 平成三十一年二月一九日(火)
 場 所 広島矯正管区

(二) 定例理事会

開催日 令和元年六月二十七日(木)
 場 所 浜田ワシントンホテルプラザ(浜田市)

三 広島矯正管区教誨師連盟役員

会 長	高橋 哲(広島県教誨師会)
副会長	山上 光俊(島根県教誨師会)
事務局長	小林 克哉(広島県教誨師会)
理 事	三谷 正美(鳥取県教誨師会)
同	岳田 司忍(島根県教誨師会)
同	奥村 宏道(岡山県教誨師会)
同	三宅 喜憲(岡山県教誨師会)
同	佐藤 元宣(広島県教誨師会)
同	森脇 宗彦(広島県教誨師会)
同	吉木 祥徳(山口県教誨師会)
同	長岡 裕之(山口県教誨師会)
同	鳥井 健順(山口県教誨師会)
同	筑波 英道(山口県教誨師会)
主 事	日下 正実(広島県教誨師会)
監 事	村上 明道(岡山県教誨師会)
同	熊谷 常照(広島県教誨師会)
顧問	山根 眞三(広島県教誨師会)

〔令和元年一〇月一日現在〕

高松矯正管区教誨師連盟

連絡先 高松矯正管区
教誨師連盟事務局
☎〇八七―八三―一八六一

一 第四回高松矯正管区教誨師研修大会について（競輪公益事業 振興補助事業）

- (一) 開催日 令和元年七月二日（火）～三日（水）
- (二) 場所 サンポートホール高松（香川県高松市）
- (三) 目的 所属教誨師の宗教教誨に関する研究協議の推進を図り、更に相互の親睦を図ることを目的とする。
- (四) 参加者 教誨師・矯正施設関係者等 八五名
- (五) 主題 「安らぎの心をもとめて」
- (六) 副題 「ともに歩む」
- (七) 日程

ア 式典

イ 研究発表

テーマ 「教誨を通して学んだこと」

発表者 徳島刑務所教誨師 千葉真二

テーマ 「教誨活動を通じて」

発表者 高知刑務所教誨師 福江 等

テーマ 「私の教誨活動」

発表者 丸亀少女の家教誨師 漆間法隆

ウ 基調講演

演 題 「多様な人たちを受容できる社会を目指して」

講師 香川大学法学部教授 平野美紀氏

エ パネルディスカッション

演 題 「それぞれの活動を通して見えてきたもの」

パネリスト 子ども食堂主催者 松山 滋氏

香川少年友の会理事 亀井 匡氏

高松市社会福祉協議会課長補佐

大川裕子氏

高松刑務所教誨師 久保博巳

高松刑務所教誨師 上野忠昭

コーディネーター

高松刑務所分類教育部長 三船晃裕氏

二 会議の状況について

(一) 各県教誨師会会長会

平成三十一年三月一三日（水） 高松矯正管区大会議室

(二) 定例理事会

令和元年七月二日（火） 高松国際ホテル（香川県高松市）

三 高松矯正管区教誨師連盟役員

会長 田村正教（高松刑務所教誨師）

副会長 松本信見（愛媛県教誨師会長）

理事 北嶋眞二郎（香川県教誨師会長）

同 北村清治（徳島県教誨師会長）

同 藤山憲二（高知県教誨師会長）

同 清原修（徳島刑務所教誨師会長）

同 筑後誠隆（高松刑務所教誨師会長）

同 村上義英（松山刑務所教誨師会長）

同 別役重具（高知県教誨師会副会長）

同 石倉敬之（丸亀少女の家教誨師会長）

同 加藤親平（四国少年院教誨師会長）

同 二神瑞隆（松山学園教誨師会長）

監事 長崎一隆（徳島刑務所教誨師）

同 道願正美（高知刑務所教誨師）

事務局長 上野忠昭（高松刑務所教誨師）

事務局員 堀江孝一（高松刑務所教誨師）

〔令和元年一〇月一日現在〕

福岡矯正管区教誨師連盟

連絡先 福岡矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇九二一七七一―九〇八一

一 研修会の状況について

今年度の研修会は、「研修大会」を開催。

◎「第四三回福岡矯正管区教誨師研修大会」(競輪公益事業振興補助事業)

- ①開催日 令和元年一月六日(水)～七日(木)
- ②会場 パシフィックホテル沖繩
- ③参加者 教誨師七九名・関係者六六名
- ④テーマ 「安らぎの心をもとめて」
- ⑤サブテーマ 「希望を信じて共に歩む教誨」
- ⑥内容

一日目

- 開会式
- 講演 「琉球の宗教史 ～御嶽信仰と仏教史～」
講師 知名定寛氏
(神戸女子大学文学部教授)
- 分科会 行刑の部・少年の部
大会宣言文起草委員会
レセプション
- 二日目
- 総会
- 閉会式

二 福岡矯正管区教誨師連盟会議の状況について

◎定例理事会(各教誨師会会長・福岡矯正管区)

- ①日時 令和元年五月九日(木) 一四時
- ②会場 本願寺福岡教堂(管区連盟事務局)

◎総会

- ①日時 令和元年一月七日(木) 一〇時二〇分
- ②会場 パシフィックホテル沖繩

三 連盟役員

- 会長 野村宗雄(福岡教誨師会会長)
- 副会長 森田順照(鹿児島教誨師会会長)
- 理事 渡邊和弘(北九州地区教誨師会会長)
- 同 田中英康(佐賀県教誨師会会長)
- 同 内藤円亮(長崎地区教誨師会会長)
- 同 堤暢之(佐世保教誨師会会長)
- 同 河野全厚(大分県教誨師会会長)
- 同 山本多美男(熊本県教誨師会会長)
- 同 佐々木鴻文(宮崎県教誨師会会長)
- 同 田中義弥(沖縄県教誨師会会長)
- 同 後藤法龍(熊本県教誨師会)
- 同 黒田幸裕(北九州地区教誨師会)
- 代議員 各施設の代表者一八名
- 事務局長 川崎文丸(福岡教誨師会事務局長)
- 事務局員 山野尚樹(福岡教誨師会事務局員)

[令和元年一〇月三十一日現在]

浄土真宗本願寺派

連絡先 浄土真宗本願寺派社会部
〈社会事業担当〉

☎ 〇七五―三七一―一五一八一

○近況報告

浄土真宗本願寺派では、当派に属する教誨師・篤志面接委員等を会員として「浄土真宗本願寺派矯正教化連盟（以下、「本派矯正教化連盟」という。）」を組織しております。

本派矯正教化連盟では、平成三五年が本派教誨一五〇周年目となることから、「本派教誨一五〇周年に向けて、さらなる展望のもとに」を事業計画の目標として、平成二四年度から令和五年度（四期一二年）までの中・長期計画を策定いたしました。本年度は、第三次中期計画となり、総合テーマを「報恩のよろこび、ともに生きる」として、研修会テーマを「聞くことの尊さ（私・あなた・仏法）」とし、会員一人ひとりの研鑽を深める学びの場を積極的に提供するため、全会員対象に「二〇一九（令和元）年度本派教誨師・篤志面接委員実務研修会」を一〇月二四日から二日間、西本願寺において開催し、参加者・委員等含め四七名が研鑽を深めた。

一日目は基調講演①では、京都刑務所所長である大竹宏明師に「矯正の現状（再犯防止に向けた取組と地域への貢献）」と題して講演いただき、基調講演②では、浄土真宗本願寺派総合研究所所長の丘山願海師に「開かれゆく心（聞くことの尊さ）」を題してお話しいただき、講演終了後、東急ホテルにて情報交換会を開催しました。

二日目は、参加者は各班に分かれ、班別会議を行い、活発な意見交換がなされました。同時に初任者研修として、養成講座を開催。全体協議会では、運営委員による総括がなされ、実務研修会として実り多い研修会となりました。

（今年度の主な事業）

○真宗大谷派との合同研修

宗派の垣根を越えて、浄土真宗のみ教えを共に聞思する中、矯正事情や今日の犯罪情勢を学び、課題を共有すべく、研修テーマを「いま、教誨に求められていること」、サブテーマに「聴く力」とし、二〇二〇（令和二）年二月三日・四日に東北にて研修会を実施いたします。

○機関誌の発刊

本年度は機関誌『教誨通信』第五四号（教誨・面接こぼれ話Ⅵ、実務研修会開催記録等）を発刊予定。

○矯正展（キャツピック展）の開催

平成一五年度から取り組んでおります本願寺境内における「矯正展」を毎年一月九日から一六日まで、宗祖親鸞聖人のご命日にあたって、その御恩徳を報謝する「御正忌報恩講法要」期間中に開催いたします。

○支部において

当派の定めております教区に「本派矯正教化連盟」の支部を設置しておりますが、その支部の相互連絡・連携を目的として矯正管区毎に「支部連絡協議会」を設けております。また、その「支部連絡協議会」主催のもと、管区ごとに会員を集めて、研修会社協議会を実施しております。

○龍谷大学矯正・保護総合センターとの連携推進

令和元年一二月二日に、京都駅の南側にある龍谷大学響都ホールにおいて、NPO法人抱撲理事長の奥田知志師を講師に迎え開催される第九回矯正・保護ネットワーク講演会「居場所と出番さえあれば人は更生できる」〜下関駅放火事件を例に考える〜について宗派として後援します。今後も、該センターとの連携を密にし、矯正活動や更生保護活動に推進していきます。

以上

真宗大谷派

連絡先 真宗大谷派教育部
☎ 〇七五―三七―一九一九三

真宗大谷派教誨師・篤志面接委員会の現況

一 第六一回「真宗大谷派教誨師・篤志面接委員会研修会」

真宗大谷派の教誨師・篤志面接委員によって構成する真宗大谷派教誨師・篤志面接委員会（但馬弘会長）では、真宗本廟（東本願寺）と地方を交互に会場とし、毎年五月に研修会を実施している。

今回は、北陸ブロックの教誨師・篤志面接委員による実行委員会を中心に準備が進められ、二〇一九年五月九日から一〇日にかけて、真宗大谷派金沢別院を会場に開催された。「本願の浄土」を疑う罪としての「真宗の罪悪感」を真宗教誨の視座とし学びを深めるため、研修テーマを「真宗の教誨―凡夫の視座―」とし、講師には中島岳志氏（東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授）をお迎えした。

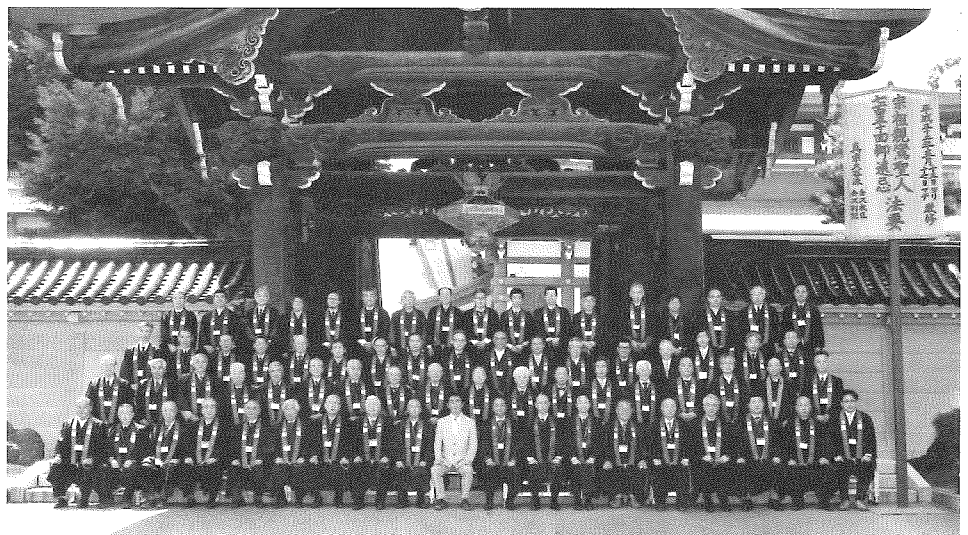
中島氏は、「忬度はなぜ起きるのか」の講題のもと、昭和初期の教誨師が国体に従順な国民を育てることを使命としていたことを取り上げ、なぜそのようなことが生じるのか、その構造を「忬度」をキーワードに思想史や政治学の視点から考察された。ミシエル・フーコーの『監獄の誕生』は、権力の変化を解き明かした書であり、近代に至って登場した一望監獄施設は、効率的に囚人を支配・監視し、労働力として更生させるための方法として生み出されたものであると紹介され、その内実は監視権力のまなざしを内面化させることにあったと述べられた。そして、このような権力構造の変化は、日本における軍機保護法や戦時体制への突入に際しても、反対できない空気として身体化してきたと述べられた。また、「忬度」という言葉が政治問題とし

て度々取り上げられるように、このことは過去の問題ではなく現代の課題でもあると提起された。

講義の後は班別座談会を行い、中島氏の講義について深め合った。二日目は、真宗大谷派鶴来別院を参拝し、富祐彬輪番（真宗大谷派教誨師・篤志面接委員会顧問）より鶴来別院の歩みについて説明いただいた。その後、白山市の鳥越一向一揆歴史館を訪れ、映像や展示コーナーを見ながら、一向一揆の歴史にふれ、史実についての理解を深め閉会した。

二 会報の発行

真宗大谷派教誨師・篤志面接委員会では会報『真宗教誨』を年二回発行しています。



全国から集まった教誨師・篤志面接委員

天理教教誨師連盟

連絡先 天理教布教部社会福祉課
☎ 〇七四三一六三一五一一

I 最近の動き

当連盟では、活動の基本方針①全施設に「天理教教誨師・篤志面接院」の配置実現に向けて努力する②天理教教誨師・篤志面接委員の専門性向上を目指す、の二本柱を基軸に、それぞれの活動を進めているが、中でも、基本方針②の「専門性向上を目指す」の一環として、過去二年に亘り「管区ブロック研修会・懇談会」を実施してきたが、更なる情報交換が必要との会員の要望に応えて、去る六月二六日、二七日の両日に亘り、新たに「施設分類級別一泊研修」を開催した。今後、毎年恒例開催の「おやすと研修会」を始め各種行事に於いても、それぞれの現場に即した、より具体的な教誨が学べるよう、順次、企画を進めているところである。

II 今年の連盟の関係する事業報告

◇おやすと研修会

平成三二年二月二五日 参加者五五名

講 義 「処遇困難受刑者の対応について」

講 師 河田 武人 氏

(京都刑務所分類教育部 首席専門官)

◇天理教社会福祉課主催「第一二回社会福祉大会」

平成三一年四月二五日

式典、記念講演、分科会(教誨師連盟総会)

記念講演 「子どもの貧困〜私たちにできること〜」

講 師 湯浅 誠 氏

(社会活動家・東京大学特任教授・NPO法人全国子ども食堂支援センターむすびえ理事長)

分科会 教誨師連盟総会 参加者三八名

平成三〇年度事業報告、会計決算報告、

平成三一年度事業計画、予算案

◇施設分類級別一泊研修会

令和元年六月二六日〜二七日 参加者四七名

内容：講演、施設分類級別懇談会、懇親会

講 演 「更生支援とおたすけ」

講 師 岡田 正彦 氏(天理大学教授)

◇新任教誨師研修会(篤志面接委員含む)

令和元年九月二五日 参加者二二名

講 義 「矯正施設が宗教教誨・篤志面接委員に期待すること」

講 師 連盟 小澤 直樹 常任委員

講 義 「天理教教誨師のつとめ」

講 師 河合 義雄 委員長

修了証書授与

◇「教誨師連盟だより」第一九号発行(七月二六日)

◇その他

天理教表統領より新任教誨師に辞令交付(随時)

常任委員会・委員会開催(随時)

曹洞宗教誨師連合会

連絡先 曹洞宗宗務庁教化部布教課
☎ 〇三―三四五四―五五六〇

◎曹洞宗教誨師連合会について

曹洞宗では、教誨師の委嘱を受けた僧侶を「曹洞宗教誨師」に任命しています。そして、曹洞宗教誨師と篤志面接委員を会員とする外郭団体「曹洞宗教誨師連合会」(以下、当会)を組織し、曹洞宗の社会教化活動の一翼を担っています。

当会は、大阪矯正管区において第一〇回全国教誨師大会開催に伴い、昭和三九年一月六日に大阪市の曹洞宗春陽軒にて結成されました。当時の名簿には九三名が名を連ねており、平成三一年四月一日現在の会員数は一五四名となりました。

当会の活動は教誨事業の向上発展を期し、会員相互の緊密なる連繋と親睦を計ることが目的です。その目的達成のために教誨儀礼の研究、懇談会の開催などの事業を行っており、特に会員の活動に役立つ研修会を毎年開催しています。その際、教誨師委嘱から五年未満の会員には初回に限り研修会の参加費を無償とし、多くの参加を呼びかけしております。また、研修会での講演を基にした講義録を作成し会員に配布するなどの事業を継続しています。昭和四九年度には当会結成一〇周年を記念して『曹洞宗教誨師必携』を刊行し、その後の平成一六年度には結成四〇周年を記念して内容を全面改訂し『曹洞宗教誨師マニュアル』と改題して刊行しました。これは、実際の宗教教誨を支援するために作成された書籍で、現在は新任の会員に配布しています。その他、宗教教誨の一助として曹洞宗教誨師や矯正施設へ月刊誌『禅の友』を希望に応じて毎月お届けしています。また、坐蒲(坐禅

指導の時に使用する丸型の座布団)や経本なども希望される矯正施設へ贈呈しています。

◎今年度の研修会について

今年度の研修会は九月五日から六日の一泊二日の日程で、東京グランドホテル(曹洞宗檀信徒会館)を会場に二六名の参加者を得て開催しました。

当日は村山雅雄副会長導師のもと開会式が行われた後、総会が開かれ、事業並びに予算決算等について報告がありました。

その後、「矯正行政の現状と課題」と題し、法務省矯正局長の名執雅子氏に、現代の教誨師活動に期待されることや、令和へ続く矯正の歩み等について講演いただきました。

第二日目は、「信頼を築くために」少年施設で心掛けていること」をテーマに、東日本少年矯正医療・教育センター専門官 法務教官の尾崎恵司氏と曹洞宗教誨師連合会会員による、パネルディスカッションが行われました。

その後、施設別学習会が実施され、本年度の教誨師連合会の研修会はすべて終了いたしました。

曹洞宗および当会は教誨活動を重要な社会教化の一つとして捉え、被収容者の更生と社会復帰の一助となるよう更なる支援をしていく次第でございます。



曹洞宗教誨師連合会研修会 於 曹洞宗檀信徒会館

神社本庁

連絡先 神社本庁教化広報部教化課
☎ 〇三―三三三―七九一八〇―一

一、組織

神社本庁では、所属教誨師による団体は組織してをらず、神社本庁統理の委嘱により各都道府県の神社本庁に神社本庁教誨師が駐在（三年一期）し、教誨活動を行ってゐる。所属教誨師に対し、事務報告書や年間の活動報告書の作成等を依頼し、活動状況の把握に努めてゐる。

教誨師全般についての事務は教化広報部教化課が所管してをり、教誨師の任命、神社本庁並びに教誨師からの報告書取り纏め等の事務をはじめ教誨師研究会、教誨師養成研修会等の関係諸会合を開催し、関係団体との折衝にあたってゐる。また、教誨活動に資するべく教化資料等を作成し、関係機関に寄贈してゐる。

尚、東京都神職教誨師会、北海道地区神社本庁駐在教誨師会（札幌矯正管区）、仙台矯正管区内神社本庁教誨師会（仙台矯正管区）、高松矯正管区内四国神社本庁教誨師会（高松矯正管区）がそれぞれ地元教誨師により自主的に組織されてをり、種々の活動を行ってゐる。

二、神社本庁教誨師研究会について

神社本庁では、昭和二五年より毎年、教誨師研究会を開催してゐる。

七〇回目の節目を迎へた本年は、八月二七日、二八日の両日、東京都府中市において、五八名の参加を得て「矯正の現状と神道教誨」をテーマに開催した。

本年は周年事業として、一日目に大國魂神社を正式参拝後、大國魂神社結婚式場を会場に物故教誨師慰霊祭と斎行した。続いて全国教誨師連盟理事長他来賓にお迎へして記念式典を開催し、永年勤続教誨師一六名の表彰を行った。その後、記念講演として法務省矯正局長名執雅子氏より「矯正行政の現状と課題」と題して講演を戴いた。

二日目は、東日本成人矯正医療センターを視察した。施設の概況説明、所内各所を巡回して詳細な案内を受け、質疑応答を行った。

三、神社本庁教誨師の養成について

神社本庁では、教誨師の更なる充実を目指すとともに、教誨師の後継者養成を目的とすべく、平成一九年より「教誨師補助員」の制度を設けてゐる。教誨師補助員は将来教誨師になることを期待されてゐる人材を各都道府県神社本庁長が委嘱するもので、同補助員に対しては施設内での行事の手伝ひや、各種会合への参加も呼びかけてをり、後継者問題解決の一助となつてゐる。

また、神社本庁の教誨師委嘱は三年一期としてをり、三年毎に神社本庁教誨師要請研修会を開催してをり、来年二月～三月頃に開催を予定してゐる。

対象は教誨師に委嘱されて三年未満の神職、教誨師補助員や将来教誨師となるのに相応しい神職、その他神社本庁長が推薦する神職としてをり、講義内容は宗教教誨の概要・方法・実践の各領域にわたつて教授してゐる。

浄土宗

連絡先 浄土宗教誨師会
☎〇三―三四三六―三三五―

浄土宗教誨師会は現在、全国で一三五名の教誨師が所属し、八〇を超える施設で教誨に取り組んでいます。

組織としては全国を北海道から九州まで八ブロックに分け、それぞれの地区で都道府県ごとに担当を持ち回りで「地区研修会」を開催しています。そして、本部として例年六月初旬には八ブロック持ち回りで「浄土宗教誨師会研修会」を一泊二日の日程で開催しております。一二月には隔年で京都と東京をそれぞれ会場として「中央研修会」を開催しております。京都開催は「浄土宗教誨師会」、東京開催は「浄土宗保護司会」がそれぞれ主催となっており、二団体合同で研修に取り組んでおります。

●令和元年度研修会一覧

○浄土宗保護司会・浄土宗教誨師会中央研修会

令和元年一二月五日・六日 於…大本山増上寺

・心理相談員 宮田 晃 氏

「この街を私の居場所に、みんなの居場所に」

・NPO法人若者メンタルサポート協会理事長 岡田 沙織 氏

「生きづらさを抱える若者たちの現状と接し方」

・法務省保護局更生保護振興課補佐官 前川 洋平 氏

「再犯防止対策について」

○第二九回浄土宗教誨師会研修会

令和元年六月二四日・二五日

於…ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

・浄土宗教誨師会事務局長 堀 芳照 上人

「教誨指針―帰依式のすすめ―」

・天草市観光文化課文化課世界遺産・文化財係主任 中山 圭 氏

「世界文化遺産『長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産』と構成資産『天草の崎津集落』について」

・八代市立博物館学芸係長 鳥津 亮二 氏

「熊本地震における教訓―歴史と体験から―」

・施設見学「熊本刑務所」

○地区研修会

北海道地区

・詳細未定

東北地区

令和元年九月一〇日・一一日 於…ホテルメトロポリタン盛岡本館

・盛岡少年刑務所所長 本永 中 氏 「施設の現況」

・盛岡少年刑務所総務部長 青柳 尚志 氏 「再犯防止について」

・施設見学「盛岡少年刑務所」

関東地区

令和元年六月一七日 於…大本山善光寺大本願

・原宿カウンセリングセンター所長 信田 さよ子 氏

「安心できる家族を作る―虐待とDVを防ぐために―」

・長野刑務所教育統括 新井 勝弘 氏 「長野刑務所の概況」

東海地区

令和元年六月一日・二日 於…松坂フレックスホテル

・松坂更生保護女性の会 「薬物乱用防止教室について」

・(有)野口石油代表取締役社長・NPO法人福岡就労支援事業者機構理事 野口 義弘 氏

「地域での立ち直り支援『信じ続ければ、応えてくれる』」

・皇學館大学教育学部教育学科准教授 吉田 明弘 氏

「対談 野口義弘氏と吉田明弘氏」

北陸地区

・詳細未定

近畿地区

令和元年七月二四日 於…奈良少年院

・奈良少年院首席次長 鈴木 氏 「奈良少年院の現状」

・浄土宗教誨師会事務局長 堀 芳照 上人 「教誨師の資質」

中・四国地区

・詳細未定

九州地区

令和元年一〇月九日・一〇日 於…ホテルニュー長崎

・平和活動支援センター所長 平野 伸人 氏

「核兵器廃絶と平和な世界をめざす『高校生一万人署名活動』について」

・子ども・女性支援部相談支援課課長 林 一 氏

「児童虐待と子どもの見守り方」

「児童虐待と子どもの見守り方」

日蓮宗

連絡先 日蓮宗教誨師会事務局
☎ 〇七〇一五三五五―九八五六

一、概略

日蓮宗では各施設に所属している一二〇余名の日蓮宗教師の教誨師が全国組織である日蓮宗教誨師会を結成し、研修や親睦を行っている。

日蓮宗教誨師会は、日蓮宗宗門内に於いては全国社会教化事業協会連合会の一団体として位置付けられており、総会並びに連絡会議等へ参加することにより連携を図り、日蓮宗の社会活動事業の一端を担っている。

日蓮宗教誨師となるためには、推薦規程により日蓮宗教誨師会を通じて日蓮宗宗務総長より推薦書を頂かなければならないようになってい

る。また、全国教誨師連盟と連携を図るべく、宗団代表者との連絡協議会（京都部会・東京部会）にも積極的に参加している。

二、令和元年度の活動

1 令和元年度第五三回日蓮宗教誨師会総会山口大会の開催

期日 令和元年七月三日（水）・四日（木）

会場 湯田温泉ホテルニュータナカ（山口県山口市）

講演 演題「日蓮聖人の降誕と私たち」

講師 山口県立大学国際文化部教授 鈴木隆泰 先生

研修 美祢社会復帰促進センター視察

2 令和元年度特別研修の開催

期日 令和元年一月二七日（水）

会場 日蓮宗宗務院（東京都池上一―三二―一五）

演題 再犯防止のために「施設における認知行動療法の活用」

講師 千葉大学社会精神保健教育研究センター

法システム部門 特任講師 東本愛香 先生

演題 「矯正としての教誨―第3世代の認知／行動療法―」

講師 千葉刑務所教誨師（日蓮宗教誨師） 影山教俊 師

3 日蓮宗教誨師会理事会の開催

4 日蓮宗教誨師会執行部会の開催

5 日蓮宗教誨師会事務局会議の開催

6 矯正管区研修助成金の支給

7 教誨活動三〇年以上者への管長表彰状申請・授与

8 日蓮宗全国社会教化事業協会連合会総会・研修会への参加

9 社教関連七団体会長並びに事務担当者連絡会議への参加

10 第五四回教誨師中央研修会への参加と聴講者へ旅費半額助成

11 日蓮宗教誨師が所属する更生施設に日蓮宗新聞を配布

12 宗団代表者との連絡会議（東京部会）への参加

令和元年七月二四日 日蓮宗宗務院伝道部 櫻井義久 課長

13 宗団代表者との連絡会議（京都部会）への参加

令和元年一〇月九日 日蓮宗教誨師会 加藤貫裕 副会長

三、活動費

会員の納める年度会費並びに宗門からの助成金によって賄われている。（ただし平成二八年熊本地震被災者は五年間免除されている）

四、役員（任期…平成三一年四月一日〜令和三年三月三一日）

会長 堀 智仙（名古屋矯正管区、以下矯正管区名）

副会長 斉藤堯圓（東京） 加藤貫裕（大阪） 田中英康（福岡）

山口顕辰（仙台）

理事 石川教道（東京） 遠藤了義（東京） 森 恵司（名古屋）

三橋泰崇（大阪） 吉木祥徳（広島） 大塚教行（高松）

渡邊和弘（福岡） 釋 英義（札幌）

金光教教誨師会

連絡先 金光教教誨師会
☎ 〇八六五一四二一三一一

金光教教誨師会におきましては、「教誨の場に『神人の道』を現そう―教誨活動の充実と展開を願って―」とのテーマを掲げ、昨年は三月六日～七日にかけて金光教本部を会場に総会並びに研修会を開催しました。この度は、例年実施している講演に変えて『ライフアーズ―終身刑を超えて―』という映画の鑑賞を行い、その後研修を行いました。また本教誨師会創設三〇年から四〇年にかけての年史の編纂を行いました。

金光教教誨師会では、現在六八名の教誨師が、五一か所の矯正施設に出仕させていただいておりますが、本年も昨年に引き続き一四カ所の施設において年頭祈願祭をまた、年末感謝祭並びに年末大祓いを一カ所、慰霊祭を一カ所の合計一六カ所において祭事を仕えさせていただきます。

また、教誨師としての資質の向上を図るため、本年は五月から七月にかけて、群馬県内、名古屋市内、山口県、福岡県と全国四つの会場において、それぞれに施設参観をはじめ、教誨実施に関わったの問題点等の検討協議、出席者による「ある日の教誨」などを実施し、教誨師一人ひとりの教誨姿勢並びに教誨内容の充実を図って参りたいと思っております。

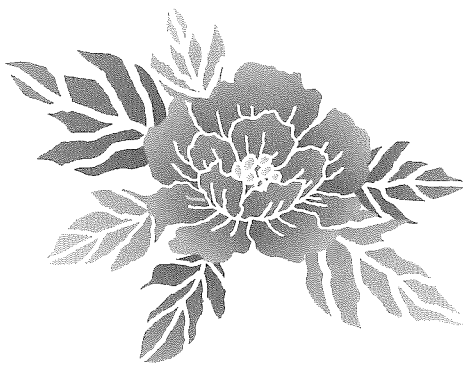
また、一方に金光教の教師育成機関である金光教学院においても、金光教教師として育っていかれる方々に対し、教誨活動への理解と、新たな教誨師の育成を願って、一二月を予定としてゼミナールを開催いたします。

広報活動といたしましては、六月と一二月に「教誨便り」を、八〇〇部発行し、教誨師を始め全教に配布いたしております。

また、三月には金光教本部を会場に、総会並びに研修会を実施いたします。この度は講演に法務省コレワーク東日本の就労支援スタッフである、中谷智美さんを講師に、就労支援等のお話を聞かせていただき、今後の教誨の参考とさせていただきたいと願っております。

本年も金光教教誨師会では、教祖のみ教えにある「人の身が大事か、わが身が大事か、人もわが身もみな人である」、「天が下に他人というは無きものぞ」とのみ教えを大切に、教誨活動のご用を進めてまいりたいと存じます。

金光教教誨師会長 畔柳 俊雄



天台宗

連絡先 天台宗教誨師会
☎ 〇七七一五七九一〇〇二二

天台宗教誨師会の現況

天台宗教誨師会は、矯正施設の教誨師並びに篤志面接委員である天台宗の教師を以て組織しております。会の発足は昭和四四（一九六九）年五月一〇日、現在三八名の会員が所属しております。

会の目的は、天台宗の教義に基づき、矯正施設における教誨の充実と会員相互の研修・親睦を図り、教誨師並びに篤志面接委員の養成につとめることであり、天台宗教義の近代化と実践、教誨経験の交流及び調査、会員相互の連絡、官庁並びに天台宗務庁その他関連機関との連絡協調などを課題として、年に一度、総会・研修会を開催しております。

また、宗内における教師並びに寺族の教誨活動への理解を深めるため会報『天台宗教誨師会々報』を年に一度発行しており、本年度は三月に発行します。

令和元年度事業について

令和元年度総会・研修会は、五月二二日（火）～二三日（水）、埼玉県川越市の川越少年刑務所を会場に開催いたしました。一日目は、川越少年刑務所の視察を実施。川越少年刑務所の担当者から、施設の概要と課題について説明を受け、作業施設、教誨施設などを見学しました。また同施設内に於いて埼玉県教誨師会六名との意見交換会を行い、活発な意見交換がなされました。その後総会を開催し、今年度の事業計画、予算案の審議のほか、令和三年に迎える伝教大師一二〇〇

年大遠忌に併せて行う法要、総会についても話合われました。夕刻には懇親会を開催し、会員相互の情報交換を行うと共に親睦を深めました。

二日目は、川越市内にある喜多院を参拝し、ご住職より寺院の縁起や各御堂について説明を受け、全日程を終了しました。

天台宗教誨師会では、教誨師の寺族の研修参加を認めており、本年も住職婦人が数名参加しました。今後も会員相互の情報交換や教誨活動に役立つ研修会を開催していきたいと考えております。

天台宗教誨師会 役員紹介

会長	植竹 徳道（千葉刑務所）
副会長	吉田 実盛（加古川刑務所）
副会長	野中 玄雄（宮崎刑務所）
理事	桑谷 祐顕（姫路少年刑務所）
理事	仲田 周雄（茨城農芸学院）
監査	張堂 完俊（府中刑務所）
監査	小寺 照依（滋賀刑務所）

全キリスト教

連絡先 全キリスト教教誨師連絡協議会
 ☎ 〇七九―二三九―三九五―

全キリスト教教誨師連絡協議会は、日本基督教団教誨師（九一名）、カトリック教誨師（六四名）を中心に三六の教派と単立の教会に属する教誨師二五五名（二〇一九年一月一日現在、全国教誨師連盟教宗派別教誨師人員表による）によって構成され、二〇〇二年熊本において開催されました第二九回全国教誨師大会の折に発足し現在に至ります。会の目的は、全国のキリスト教教誨師の交流をはかり、その教誨活動を支援することにあります。

今年度は七月九日～一〇日、国立オリンピック記念青少年センターにおいて全キリスト教教誨師連絡協議会役員会を開催（一名出席）し、次の事項が承認され地区等の報告がありました。

1 二〇一八年度事業報告と決算の承認
 2 二〇一九年度～二〇二〇年度の事業計画（次の①～④の事項）と予算案の承認

① 二〇一九年度二月中に全キ報告書を作成し会員に送付する件
 ② 二〇一八年度助成金の申込出来なかった地区に対して、今年度申込を受付し送金する件

③ 二〇二〇年度総会の件
 第三八回全国教誨師大会（於・鹿児島市 日程・十一月一日～一日）の第一日目終了後開催。

※前日、同市において全キ役員会を開催する予定です。
 ④ 二〇二〇年度開催予定の全キ教誨師研修会の件

ア 日程…二〇二一年二月一五日（月）～一六日（火）
 イ 会場…国立オリンピック記念青少年センター
 ウ 主 題…講師に決めていただく
 エ 副 題…「キリスト教教誨の役割」

オ 講 師…中島 学氏
 （現・美祢社会復帰促進センター長）

カ 参加者…約八〇名（予定）
 助 成…交通費（早割分）、宿泊費・食費（一泊三食）を全キより参加者に助成

3 報告

① 地区報告（特に語られた件を記しました）

ア 札幌地区（山形浩之先生） 管区の研修会に参加された三名で分ち合った。管内の施設でのキリスト教教誨師の増員が難しい状況である。

イ 仙台地区（川上直哉先生） 一月一八日管区研修会が福島で行われた折に、カトリック教会をお借りして会を持った。

ウ 東京地区（小野團三先生） 管内には七〇人の全キ教誨師がおり、名簿の確認訂正を行う。

エ 名古屋地区（内村保先生） 管区研修会が六月一日～二日岐阜で行われ、全キ関係の出席された五人の方々に声を掛け、集まりを持った。

オ 大阪地区（代・時久忠夫先生） 毎年七月に一泊二日で地区の研修会を開催し、二〇一八年度は法務省矯正研修所副所長・中島 学氏（現・美祢社会復帰促進センター長）を講師として招いた。延べ三〇人が参加した。参加者は教誨師、篤志面接委員、待機者等である。毎回、開会礼拝の後、総会を開催し事業報告、決算報告の時を持ち、出所者の支援事業を運営されている四名の牧師（内二名は教誨師、一名は委嘱待ち、一名は待機）への支援金の助成をしている。

カ 広島地区（月下美孝先生） 管内一四施設にキリスト教教誨師三名が委嘱されている。まだ管内の研修会が出来ていない。

キ 高松地区（福田哲先生） 各教誨師が多忙のためなかなか集まることできない。しかし、二〇一八年二月に高知県で集まりの時を持ち規約の確認をした。

ク 福岡地区（松崎義治先生） 年一度の地区研修会の参加者を増やすことが課題である。地区役員会を年二～三回したい。地区会報作成し送付している。

② EMSの報告（川上直哉先生）
 二〇一八年一月～二月の全キ報告書を作成し、EMS事務局に送付し助成を受けている。

（文責・時久忠夫）



2019年7月9日全キ役員会出席者

全真言宗教誨師連盟

連絡先 全真言宗教誨師連盟事務局
☎ 〇三―三三四三―一〇八一

○役員紹介（令和元年・二年度）

会長	小寺 秀仁	真言宗智山派
副会長	小池 弘三	真言宗須磨寺派
同	麻生 章雄	真言宗醍醐派
幹事長	阿部 眞猛	高野山真言宗
事務局長	原 豊壽	真言宗智山派
会計	腰塚 勝也	真言宗智山派
監事	吉田 正裕	真言宗御室派
同	井上 宥恵	東寺真言宗

○活動内容

現在一五六名の会員にて各矯正管区施設に於いて、教誨活動を行っています。

役員任期は二年で、各山より選出の理事三〇名にて、理事会を構成しています。

年二回の理事会と年一回の総会・研修会を開催し、本会の更なる充実の為、事業・会計等の審議、会員の実務の練達、適格者の推薦・要請等に努力しております。

近年は事務局担当宗派を真言宗智山派、真言宗豊山派、高野山真言宗の三派で、役員改選と共に交替しており、今年度は真言宗智山派が担当しています。

また、平成九年より、機関誌『遍照』を年刊で刊行しています。

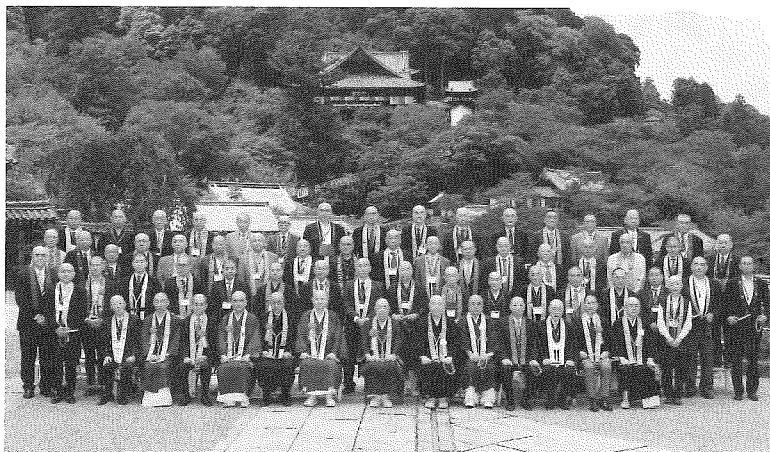
○第五九回 全真言宗教誨師連盟大会報告

当連盟では、会員相互の実務研修の為、真言宗各派総大本山などの寺院を会場として、年一回の大会を開催しています。

昭和三五年の結成以来、五九回目となる本大会は、真言宗豊山派総本山長谷寺（奈良県桜井市）において、令和元年六月一七日、一八日の二日間に亘り開催しました。

大会テーマを『慈悲心にふれる』とし、一七日は本尊参拝法要並びに諸堂参拝ののち、大講堂にて真言宗長者 総本山長谷寺第八七世化主 真言宗豊山派管長 田代弘興 猊下より特別講演を賜りました。田代猊下からは、「慈悲の心と私の生き方」という講演テーマのもと、ご慈愛に満ち溢れたお言葉を頂戴いたしました。翌一八日は、THE KASHIHARA において総会並びに記念講演が行われ、「長谷寺観音さま 現代に再び来臨」のテーマのもと、真言宗豊山派宗務総長 星野英紀師より講演を賜りました。

令和二年度第六〇回大会は、真言宗御室派 仁和寺（京都市右京区）において六月二九日、三〇日に開催する予定です。



第59回全真言宗教誨師連盟大会記念 於 総本山長谷寺

全国臨黄教誨師会

連絡先 全国臨黄教誨師会
☎ 〇七五―四六三―三二二一

全国臨黄教誨師会は、全国臨济宗各派黄檗宗の教誨師をもって組織されております。

- 臨济宗妙心寺派 二七名
- 臨济宗南禅寺派 二名
- 臨济宗大徳寺派 一名
- 臨济宗円覚寺派 一名
- 臨济宗天龍寺派 一名
- 臨济宗東福寺派 一名
- 黄檗宗 二名

の三五名が全国臨黄教誨師会に在籍しております。

目的

矯正施設における宗教教誨の充実徹底を図り関係諸機関との連絡を密にするとともに、臨黄教誨師会会員相互の、研鑽と親睦を図ることを目的とする。

以前、昭和四四年に当会は発足しており機関紙「禅教誨」を発刊したと記録にはあります。平成一年五月に活動を再開し、「禅教誨」も翌年に再版が発行されました。その再版した時の寄稿を紹介させて頂きます。

「お地藏さまにならん」 南禅寺派 五〇部令脩師

〔抜粋〕 昭和四七年一〇月、四国高松市で第一四回全国教誨師大会が開催されました。その時「東洋の道」と題され山田無文老師の記念講演がありました。

そのお話の中で「人生は一度しかありません。命は一つしかありません。自分という人間は世界中に一人しかおりません。皆様方は地藏菩薩となって刑務所の奥深きに入って頂き、命の尊いこと、人生の二度とないこと。その人の人生の使命が、どんなささやかな使命でも、その人でなければ出来ないものがあるに違いない。そういうものを自覚させて下さい。」と話されました。この老師の御言葉こそ教誨の宝訓です。禅の教誨師は、一人一人が地藏菩薩にならねばなりません。六道の辻から地獄のどん底までの菩薩行を念じなければなりません。

各施設・各矯正管区教誨師研修会や全国教誨師大会に参加するとともに、本年度二月一〇・十一日に全国臨黄教誨師会研修会が妙心寺派宗務本所にて開催になっております。又、本年は役員改選になります。

現役員紹介

- 会長 新野 建 臣 妙心寺派（秋田刑務所）
- 副会長 金 嶽 宗 信 大徳寺派（東京拘置所）
- 副会長 村 上 明 道 妙心寺派（岡山刑務所）
- 事務局長 大 野 浩 宗 妙心寺派（名古屋刑務所）
- 監 事 田 尻 和 光 妙心寺派（笠松刑務所）

あとがき

◆本年一〇月一日付で、全国教誨師連盟事務局長を拝命した谷澤正次です。前職は、府中刑務所の教育専門官として勤務しておりました。一〇年以上勤務された前事務長から「仕事は見て覚える。盗め。」というお言葉をいただき、四〇年前の拜命当分のことを思い出し、社会人一年生の緊張とワクワクした気持ちで毎日を送っています。舍奈田理事長や龍田先生、佐藤主事から暖かいご指導を受けながら、少しでも皆様方のお役に立てることが出来ますように努力致す所存でございます。全国教誨師連盟事務局の尚一層の御理解、御協力を賜わりたくお願い申し上げます。御挨拶とさせて頂きます。

（事務局 谷澤正次）